

[第10回日本ワクチン学会学術集会 プログラム(2006.10.21 ~ 22)]

第1日目 10月21日(土)		第2日目 10月22日(日)	
9:00	一般演題	8:30	一般演題
12:00	ランチョンセミナー 座長:鈴木 宏(新潟大学大学院医歯学総合研究科) 「インフルエンザワクチン」 演者: Martine J. Denis (GSK Biologicals, Rixensart Belgium)	11:00	特別講演 座長:奥野良信(大阪府立公衆衛生研究所) 「人獣共通感染症としてのインフルエンザを克服するために」 演者:喜田 宏(北海道大学大学院獣医学研究科)
13:10	総会	12:00	ランチョンセミナー 座長:浅野喜造(藤田保健衛生大学医学部) 「带状疱疹ワクチン」 演者: Michael N. Oxman (Medicine and Pathology Univ. of California)
13:40	高橋賞受賞講演 座長:山西弘一(医薬基盤研究所) 「水痘ワクチンの臨床研究および本邦における各種予防接種の普及啓発活動」 演者:神谷 齊(国立病院機構三重病院) 「水痘・带状疱疹ウイルス感染症制御に関する研究」 演者:浅野喜造(藤田保健衛生大学医学部)	13:10	パネルディスカッション 「ワクチン研究開発・評価・審査の諸問題について」 座長:神谷 齊(国立病院機構三重病院)、宮村達男(国立感染症研究所) 「ワクチンの研究開発、供給体制について」 演者:植村展生(厚生労働省血液対策課) 「ワクチンの審査について」 演者:田中克平(独立行政法人医薬品医療機器総合機構) 「ワクチンの評価の問題点」 演者:佐々木次雄(国立感染症研究所) 「ワクチン開発から承認への問題点」 演者:上田重晴(財団法人阪大微生物病研究会)
14:20	特別講演 座長:岡部信彦(国立感染症研究所) 「WHOにおけるワクチン予防可能疾患対応 政策の論点および現場の経験より」 演者:砂川富正(国立感染症研究所)	15:00	パネルディスカッション 「予防接種の混乱に答える(答える)」 座長:熊谷卓司(くまがい小児科)、庵原俊昭(国立病院機構三重病院) 「予防接種の目指すもの - ワクチンが社会に受け入れられるために」 演者:庵原俊昭(国立病院機構三重病院) 「米国ACIPを視察して - わが国への導入が可能か? -」 演者:横田俊平(横浜市立大学医学研究科) 「最近の予防接種制度の変更に伴う接種現場での混乱について」 演者:永井崇雄(永井小児科医院) 「日本の予防接種行政の展望」 演者:三宅 智(厚生労働省結核感染症課)
15:15	シンポジウム 「新しいワクチンの開発」 座長:清野 宏(東京大学医科学研究所)、生田和良(大阪大学微生物病研究所) 「生体成分粘膜アジュバントを用いたインフルエンザ経鼻ワクチン」 演者:木戸 博(徳島大学分子酵素学研究センター) 「HIV感染細胞の制御をめざしたワクチンの開発」 演者:高橋秀実(日本医科大学微生物学免疫学教室) 「新規組換え多価ワクチンの開発と応用」 演者:森 康子(医薬基盤研究所) 「細菌ワクチン開発の展望」 演者:浜田茂幸(日本大学大学院総合科学研究科)	17:30	終了
17:30	懇親会	17:30	終了